



NHK国際放送チャンネルを活用した サステナビリティ広報企画のご案内



2025年度

本企画の意義

世界に伝えるべき、日本のサステナビリティ - 国際発信が、信頼と評価を育てる。

気候変動、格差、ジェンダー、平和など、地球規模の課題が顕在化する中、SDGs達成期限である2030年まで残り5年を切りました。ESG投資やサステナブル経営が世界的に加速する今、企業や行政の広報活動にも「見せかけ」ではない、本質的な姿勢が求められています。

サステナビリティ広報は、信頼性や透明性を示すだけでなく、社会との対話を生む重要な手段へと進化しています。特に国際発信においては、共感を呼ぶストーリーテリングが鍵となり、日本の先進的な取り組みを世界に伝えることが、国際的な理解と評価の促進につながります。

本企画では、国際放送チャンネル「NHK WORLD-JAPAN/jibtv」を活用し、世界160の国と地域に向けて持続可能な未来へのメッセージを広く、深く届けることを目指します。



広報プランの概要

番組放送からその後の広報展開まで、サステナブルな海外ブランディングをサポート

新・情報番組シリーズ『THE CHOICE』で御社の取組を国際発信

御社のサステナビリティへの取り組みに焦点を当てた特集を制作し、国際放送チャンネル「NHK WORLD-JAPAN/jibtv」を通じて、世界に向けてその価値を発信します。



- ・ 今の日本でサステナビリティに取り組む人々の「選択」に焦点を当てる番組シリーズ【外国人向け英語番組／約15分】
- ・ 多様な視点を持つ外国人ナビゲーターたちが、サステナビリティに取り組む人々との対談を通じて、その真価を深堀していきます。

再編集・二次利用展開

自社の広報ツールとして動画（英語版／日本語字幕版）を活用



オウンドメディアでの展開

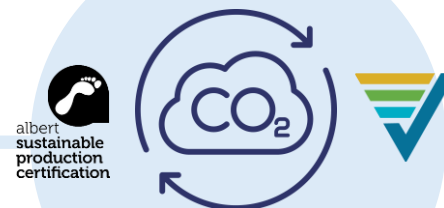
- ・ Webサイトやソーシャルメディア等で公開（YouTube、SNS 等）



ブランディングツールとして利用

- ・ 商談やイベントなどBtoB向けのツールとして
- ・ 社内向けのインナーブランディングにも機能

カーボンオフセット



番組制作に伴うCO2排出量を可視化し、認証クレジット(VCS)によりオフセットを実行

広報展開



海外向けのプレスリリース

- ・ 番組の視聴促進に加え、サプライチェーン全体での環境負荷低減を意識した取組をアピール

その選択が
未来をつくる

THE CHOICE

今の日本でサステナビリティに取り組む人々の
「選択」に焦点を当てる番組シリーズ

この地域が選んだ、暮らしのかたち
この企業が選んだ、未来への投資
この人が選んだ、サステナブルな一歩

誰かが「こうしたい」と思って選んだ行動が未来を少しずつ変えています。

この番組は、そんな“暮らしや社会をより良くするために選ばれた行動”に耳を傾け、その背景にある想い、葛藤と期待を描いていき、サステナビリティを単なる「理想」ではなく、“リアルな選択”としてとらえます。

番組は、視聴者と同じ目線で、ときに驚き、考え、ときに静かに共感するナビゲーターが、その「選択」が生まれた背景や意味を、視聴者とともに紐解いていきます。

演出のポイント

POINT
01

サステナビリティの取り組みを「選択」の物語に

個人や企業、地域が行っているサステナブルな活動を「選択」という視点から紹介します。それらの選択が、社会の中でどんな意味を持つのかを考えるきっかけとなる番組です。

POINT
02

多様な視点から、選択の意味を伝えます

番組では、テーマによって年齢・職業・価値観の異なるナビゲーターが登場します。多様な視点を持つナビゲーターたちが、サステナビリティに取り組む人々との対談を通じて、「選択」の持つ意味を深堀していきます。

POINT
03

選択のきっかけから、未来の可能性を探ります

番組は、ひとつの音やモノから始まり、選択の“かけら”を通じて視聴者の好奇心を刺激します。その選択が生まれた背景や、それを選んだ人の想いに迫ります。そして、その選択がされなかった未来とは？「選択」の価値を様々な角度から伝えていきます。

構成イメージ

THE SPARK

Where the story begins

【テーマを想起させる印象的な映像＋ナビゲーターによる導入@スタジオ】
番組は、ひとつの音やモノから始まり、テーマへの感覚的な導入とします。

THE CONTEXT

Why this choice matters now

【現場V構成＋印象的な数字・データ＋ナレーション】
データや図解、ナレーションなどを通じて、「なぜ今この選択が必要なのか？」という問いに答えていきます。

THE CHOICE

What was chosen — and why

【関係者の声を含む現場V構成＋ナレーション】
実際に行われた“選択”そのものを紹介。どのような影響をもたらしたのか、The choiceの意味を深掘りします。

THE CHOICEMAKERS

Who made the choice — and how

【The Choicemaker/sとの対談インタビュー @ 現場またはスタジオ】
その選択をした“Choicemaker”との対話を通じて、選択の裏にある想いや葛藤、そして決断の瞬間に焦点を当てます。

WHAT'S YOUR CHOICE

A gentle invitation

【テーマに関連する印象的な映像モンタージュ＋ナビゲーターによるまとめ@スタジオ】
「あなたの選択は？」静かな余韻として心に残る問い。その感覚を、視聴者と共有します。

ナビゲーター候補

Mona Neuhauss ノイハウス萌葉

ドイツ生まれ、イギリス育ちのトリリンガル。「No Plastic Japan」や日本初のゼロウェイストスーパー「斗々屋」の立ち上げなど、サステナビリティ分野での実践と発信を続けてきた。現在はJ-WAVEの人気番組『STEP ONE』のナビゲーターとしても活躍中。彼女の語りは、生活者としてのリアルな視点と、社会全体を見渡す知性が共存している。番組では、企業と個人の間にある“選択”を丁寧にすくい取る存在として活躍が期待される。



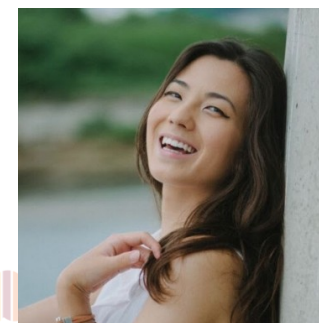
Robin Takashi Lewis ルイス・ロビン敬

社会起業家・教育者・ストーリーテラー。「Social Innovation Japan」および「mymizu」の共同創設者として、テクノロジーとコミュニティの力で社会課題に挑む。2024-2025年のオバマ財団アジア・パシフィックリーダーにも選出。彼の語りは、構造的な課題をわかりやすく紐解きながらも、個人の選択に希望を見出す力を持つ。番組では、社会変革の現場に立つ者として、選択の「連鎖」や「共創」の視点を提供できる。



Shizuka Anderson アンダーソン静香

カナダと日本にルーツを持つ。俳優・テレビ司会者。特に「食」をテーマにした番組で人気を集めてきた。彼女の語りは、明るく親しみやすく、視聴者にとって“自分ごと”として選択を考えるきっかけを与えてくれる。番組では、「何を食べるか」「どこで、誰と食べるか」といった日常の選択を通じて、サステナブルな暮らしをやさしく、でも深く掘り下げていく存在として活躍が期待される。



番組放送後の広報展開

番組制作に伴うCO2排出量を第三者認証のもとでオフセットする仕組みを導入

海外向けのプレスリリースを配信し、サプライチェーン全体での環境負荷低減を意識した取組をアピールします。

番組制作



番組制作における各工程(打合せ、ロケ、編集、ポスプロ等)で排出されたCO2排出量を英国発のCO2換算ツールで算出

CO2排出量の可視化



カーボンオフセット



可視化したCO2排出量に対して、世界で最も汎用されているクレジットの認証基準「VCS」により、オフセットを実行

広報活用



番組放送の事後広報として、環境配慮にした番組制作の取組内容を含む英語のプレスリリースを海外に向けて配信

CO2換算とオフセットの仕組み

グローバルに認められる環境配慮のため、国際的な認証基準を採用

	CO2排出量の換算ツール	カーボンクレジット認証制度
名称	<p>アルバート Albert carbon calculator</p> 	<p>VCS Verified Carbon Standard</p> 
概要	<p>イギリスBBCが開発・導入したメディア業界向けのカーボンフットプリント測定ツール。コンテンツ制作に伴う温室効果ガス排出量を定量的に評価するもので、イギリスのテレビ各局では使用が義務化されているほか、国際的にも約40カ国で活用されている。 導入済みの国際メディア: Netflix, Amazon MGM Studios, Warner Bros. Discovery, Fremantle など</p> <p>日本国内でもNHKやTBSが導入を始めている</p>	<p>Verraという米国の非営利団体が運営している世界最大級のボランタリーカーボンクレジット制度。100カ国以上でプロジェクトが展開されており、企業・政府・投資家からの信頼が高い。</p> <p>日本でも三菱重工、Google、マイクロソフト、Appleなどが活用している。また、国際メディアのNetflixやDisneyも導入している。</p>

ご提案概要

サステナビリティ広報企画 パッケージプラン

基本サービス **¥5,000,000** 円（税別）

- 約15分の英語番組を制作し、NHK WORLD-JAPAN/jibtvで世界の約160の国や地域、およそ3億8,000万世帯にむけて放送(4回/日)
- 日本語字幕版を制作
- 放送終了後、各国のモニターレポート(30人～50人分)を提出
- 日本国際放送のHPに番組ページを制作し、VOD配信＋クライアント様の情報の掲載
- 日本国際放送の公式YouTubeチャンネルに動画公開
- 番組素材・台本を提供、二次使用の権利を付与
 - クリーン(編集済み、ナレーション音声あり)、放送版、日本語字幕版のmp4データを提供
 - ▶制作、放送した番組映像を、HP、SNS等へ展開が可能
 - ▶セミナー・展示会での上映、DVDとしての配布、社内外プレゼンテーション資料としてご自由に二次活用いただけます。
- 番組制作の過程で排出したCO2排出量を算定し、認証クレジット(VCS)によるオフセットを実行
- 番組放送の事後広報として、海外向けのプレスリリースを配信

*ロケ取材について

基本サービス内では、首都圏近郊で1カ所を想定。ロケ地が2カ所以上、または海外等の遠方ロケ取材が必要となる場合、ご相談のうえ別途御見積いたします。